

第50回  
Junior high school

全国

# 中学校大会

8月20~23日 滋賀県立体育館

男子団体優勝は、東工大名電と厚田学園が対戦。試合は2セットで行われ、1セットは厚田学園がリードするが、2セットは東工大名電がリードする。ダブルスは徳嶋と佐藤が、ダブルで得点をあげた中村・佐藤組(東工大名電)が勝利すると、4番で富山東工大名電が徳島のプレーを見せて、東工大名電が優勝を決めた。準優勝は厚田学園、ベスト4は明倫学院、信田学園だった。

女子団体優勝は、四天王寺と貝塚第二が対戦。両者は、地区大会から対戦しており、大塚府、近畿大会では貝塚第二が勝利していた。

両校が対戦する試合前、強い緊張で帰ったが、トップの大塚府四天王寺が素晴らしいプレーで簡単に勝利し、優勝をあげる。両校に行われていた試合は、貝塚(四天王寺)が、準正に1ゲーム目こそ落として、第2試合のに入ったプレーと威力奪回ハンド攻撃を奪い、2ゲーム目はリズムを掴み勝利し、王手をかける。3セットのダブルスはこの日のために仕上げてきた山崎・清谷(四天王寺)、1本目から素晴らしいプレーを見せて勝利し、四天王寺が3連覇を達成した。ベスト4には、明倫学院、信田学園が入った。

勝利に入ると、物好きのハンド攻撃を奪い、決勝で山崎・清谷を奪い、一気に王手をかけた。

## 女子団体 四天王寺

四天王寺「貝塚第二との一戦打さないと勝てないので、気持ちを定めていた。大会前は大会がない、近畿大会では大会、優勝がない。今回はフルメンバーで臨んだ。ダブルス(山崎・清谷)は、能く立たせように入部した時に、全中のために練習しようと思っ、大会優勝、大塚府賞、アディショナル賞の3つを、仕上げた」と村岡監督

山崎・清谷(2)・徳嶋(2)・佐藤(2) この全中のために練習を積んだ2人、予選リーグから優勝し、特に決勝で奪った山崎のカウンター攻撃が、決勝の決め手プレーに注目を集めた。

## 女子団体 貝塚第二

貝塚第二 威力奪回ハンド攻撃と強力なバックプレーでチームをけん引した

厚田学園 フォトワークを強めた攻撃と、自派をしないプレーで予選リーグから優勝

明倫学院 フォトワークを強めた攻撃と、自派をしないプレーをみせて、準優勝の東工大名電で勝利



山崎・清谷 予選リーグ決勝戦



山崎・清谷 予選リーグ決勝戦



山崎・清谷 予選リーグ決勝戦



山崎・清谷 予選リーグ決勝戦

## BEST 4



山崎・清谷 予選リーグ決勝戦

## 男子団体 東工大名電

「選手たちがダブルスの強さを発揮していたので、1試合からその強さを発揮することができた。どんな状況でも冷静に試合をこなすことができて、最後まで諦めずにプレーし続けた。ダブルスのダブルスも良かったと思う。『いやで、いやで』と声援を受けて、ダブルスのダブルスも良かったと思う」と監督



## Boys

### 男子団体 厚田学園

厚田学園 強力なバックプレーとハンド攻撃でチームをけん引した



厚田学園 予選リーグ決勝戦



## BEST 4



山崎・清谷 予選リーグ決勝戦



山崎・清谷 予選リーグ決勝戦